

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書  
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 永寿会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 岐阜県岐阜市栄新町 2 丁目 5 0 番地
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 56 年 2 月 16 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 56 年 2 月 21 日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	大橋 勉	大橋整形外科病院、介護老人保健施設 永寿 介護医療院 大橋整形外科病院 管理者
理 事	大橋 祐子	
同	梅村 厚志	
同	福田 史子	
監 事	廣瀬 祥子	

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	大橋整形外科病院	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 50番地	一般病床 0床 療養病床 50床 [医療保険 50床] 精神病床 0床 感染症病床 0床 結核病床 0床
介護医療院	介護医療院 大橋 整形外科病院	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 50番地	入所定員 53名
介護老人 保健施設	介護老人保健施設 永寿	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 50番地	入所定員 29名 通所定員 0名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
デイケア永寿	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 50番地	通所リハビリテーション 予防通所リハビリテーション
デイサービス永寿	岐阜県岐阜市栄新町2丁目50 番地	通所介護 介護予防通所介護
永寿会介護支援センター	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 1番地	居宅介護支援
大橋整形外科病院	岐阜県 岐阜市 栄新町2丁目 50番地	通所リハビリテーション 予防通所リハビリテーション

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3 年 5 月 2 5 日

令和 2 年度決算の決定

令和 3 年 5 月 2 5 日

令和 3 年度事業計画および収支予算の決定

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

通所介護（通所リハビリテーションから変更）

- (6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

- (7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

法人名 医療法人社団 永寿会

※医療法人整理番号

所在地 岐阜市栄新町2丁目50番地

## 財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

1. 資 産 額	1,118,058 千円
2. 負 債 額	293,271 千円
3. 純 資 産 額	824,787 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	167,870
B 固 定 資 産	950,188
C 資 産 合 計 (A+B)	1,118,058
D 負 債 合 計	293,271
E 純 資 産 (C-D)	824,787

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
 建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

## 様式 2 6 - 1 - 3 (旧法：病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人)

法人名 医療法人社団 永寿会

※医療法人整理番号

所在地 岐阜市栄新町2丁目50

## 貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	167,870	I 流 動 負 債	82,227
現金及び預金	56,136	支払手形	0
事業未収金	98,692	買掛金	8,917
有価証券	0	短期借入金	50,000
たな卸資産	2,468	未払金	19,229
前渡金	20	未払費用	0
前払費用	620	未払法人税等	102
繰延税金資産		未払消費税等	1,510
その他の流動資産	9,934	繰延税金負債	
II 固 定 資 産	950,188	前受金	
1 有 形 固 定 資 産	935,354	預り金	2,469
建築物	598,076	前受収益	0
構築物	51,161	〇〇引当金	0
医療用器械備品	14,993	その他の流動負債	0
その他の器械備品	8,991	II 固 定 負 債	211,044
車両及び船舶	0	十六長期借入金	143,750
土地	262,133	大共長期借入金	52,176
建設仮勘定		繰延税金負債	0
その他の有形固定資産		その他長期借入金	15,118
2 無 形 固 定 資 産	448	その他の固定負債	0
借地権	448	負債合計	293,271
ソフトウェア		純資産の部	
その他の無形固定資産		科 目	金 額
3 その他の資産	14,386	I 資 本 金	71,997
有価証券	150	II 資 本 剰 余 金	0
長期貸付金	0	III 利 益 剰 余 金	752,790
役員等長期貸付金	0	積立金	0
長期前払費用	0	当期末処分益	752,790
繰延税金資産	0	IV 評価・換算差額等	0
その他の固定資産	14,236	その他有価証券評価差額金	0
		繰延ヘッジ損益	0
		純資産合計	824,787
資産合計	1,118,058	負債・純資産合計	1,118,058

(注) 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 2 6 - 2 - 1 (病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人)

法人名 医療法人社団 永寿会  
所在地 岐阜市栄新町 2 丁目 5 0 番地

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書  
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		693,316
2 事業費用		
(1)事業費	112,540	
(2)本部費	606,381	718,921
本来業務事業損失		△ 25,605
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業損失		△ 25,605
II 事業外収益		
受取利息	3	
その他の事業外収益	21,846	21,849
III 事業外費用		
支払利息	2,260	
その他の事業外費用		2,260
経常利益		△ 6,016
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		0
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失		0
税引前当期純利益		△ 6,016
法人税・住民税及び事業税	205	205
法人税等調整額		
当期純利益		△ 6,221

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 永寿会  
理事長 大 橋 勉 殿

私（注1）は、医療法人社団永寿会の令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年5月25日

医療法人社団 永寿会  
監事 廣瀬 祥子 印

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。